

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス高島平		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2026年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2026年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間の清潔さと整理整頓された空間	毎日フロアから使用した玩具まで丁寧に清掃。また児童が使用したい道具がいつも同じ場所にあり、使いたい時はスムーズに使用する事が出来る。一人で集中したい時には個別机を使用し、数名で体を使って遊びたい時には余裕のあるスペースを確保している。	清掃、整理整頓は維持していくことが非常に難しいが、時間などの言い訳は行わず保たれるまでの清掃を維持。玩具なども毎日故障箇所を確認し遊びの中でケガ等をする事が無いよう日々確認を続けていく。
2	各家庭としっかりと向き合ったレスポンスの早い対応	多岐に及んだ相談や困りごと等、さまざまな連絡は随時受け付けております。いつでも時間を儲け話し合いが出来る、また迅速な対応と応答が出来る様、日々各職員が団結しております。	出来る限りご家族様の意向に沿えるよう、施設の許容範囲を広げられる努力をしております。
3	児童一人一人に合ったライフスキルの強化	ご家族、学校、相談支援員と密に連絡をとり、一人一人に合った個別計画を制作。就労を見こし、行うべきことは行い、自由時間に好きな事をして楽しむ集団行動の基礎を学びながら、他者との関りに楽しさを見出し充実した放課後を過ごせるよう支援を行っています。	個別計画の期限は6か月となっておりますが、児童の成長や目標の変更に合わせて、随時更新を行っている事をより周知し、常に今の児童にあった内容にて支援を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外出レクなど、外に出て学ぶ機会の回数が少なく地域交流の機会が少ない。	安全対策としての十分な人員の確保	安全を第一考えた上で外出できる方法を柔軟に話し合う。代替えとして行っている室内イベントは今後も盛大に皆が楽しめるレクと合わせ行っていく。
2	玄関・フロア内に段差がある	玄関に8段、フロアに関してはトイレ前に1段、窓際に1段の段差がある。	玄関にはリフトを設置、現在は使用しておりませんが車いす等も上げる事が出来ます。段差は職員と手を繋ぐ、また職員が見守りを行い対処している。また、ドアなどの開閉の危険スペースには赤い絨毯にてマーキングを行い危険管理を行っている。
3	SNSやHPによる定期的に通信がない事	重要なお知らせ、防災訓練、職員配置の変更に関しては連絡ノートへ折込を入れお知らせさせて頂いている。	施設内で行われている研修や会議内容の報告、外部研修の様子も含め、不透明である部分の発信力を強化する方法を構築・考案してまいります。また、連絡ノートに記入、折込にてお知らせ等だけで済ませず、方法を検討してまいります